

ふれあいねもとたより

平成28年

3月1日

第115号

編集 発行 根本校区地域福祉協議会

多治見市北丘町 1-73(根本 22 区民館構内) Tel& fax 0572-27-6605

ふれあいねもとでは



2月の「相談窓口」 民生児童委員相談窓口 相談窓口事業部会

2月1日～29日(土・日・祝祭日を除く) 20日間延べ43人で対応。 対応件数: 11件
(支援相談 1件 地域内団体との連絡調整 4件 市・社協・区関係 4件 地域力関係 2件)
健康・介護相談日 2月19日 相談に訪れた人 7人

子育て支援活動

参加者 親 10人 子供 13人 ふれあいねもとスタッフ 2人

2月10日 根本交流センターにて読み聞かせを行いました。「おふろじゃぶじゃぶ」「やさいやさん」「あめふりさんぽ」の3冊。 折り紙で「くるくる紙飛行機」も作りました。

ふれあいねもと健康講座 2月28日 根本交流センター 受講者 57人 市職員他 5人

日本は超高齢社会を向かえました。 多治見市の高齢化率(総人口に占める65歳以上の老年人口の割合)は増加の一途をたどり、昨年10月時点で27.2%。 このうち根本校区は 29.2%になっております。

このような状況下で、地域の役割と福祉活動について考える勉強会を開きました。講師に多治見市役所福祉部高齢福祉課から春田正孝課長代理、三浦和宏総括主査、西尾悦子総括主査を講師にお招きして、講演会「みんなで支え合うこれからの福祉活動～地域づくりと介護予防～」を開催しました。

まず春田さんから高齢者の状況、介護保険サービスと介護保険以外の高齢者の福祉、介護保険サービスの内容、介護保険制度以外の高齢者の福祉サービスの内容、相談・援助事業、地域包括ケアシステムなど幅広い事業の概要について学びました。

休憩をはさんで、西尾さんから筋力アップ体操を教えていただいたあと高齢者の食生活指導、口腔ケアの重要性、認知症の正しい知識などのお話をいただきました。

最後は三浦さんから多治見市内で実際に起こった高齢者孤独死の事例報告。 テレビや週刊誌で知るような悲惨な事件が多治見でも発生しており、市職員が対応している生々しいお話を拝聴し、地域で支え合うことの大切さを学びました。 2時間30分の講座でしたが、質問も多くみなさん熱心に受講されました。



「ふれあいねもと健康・介護相談室」開催中

3月の予定 3月18日(金)午前11時～12時

相談員 南姫地域包括支援センター

(血圧測定器、体脂肪測定器をご用意しています。)

場 所 ふれあいねもと事務所(根本22区民館隣り)



31区では

牛乳パックでバスケット

旭ヶ丘第8町内ひまわりサロン

2月5日 旭ヶ丘第8町内集会所にて、各々、牛乳パックを持ち寄り
きれいな色の紙を貼って、バスケットを作りました。

テーブルに置けば、アクセサリーにもなるし、アメやちょっとした
お菓子でも入れればティータイムにも一役かいそうです。

出来上がった作品をテーブルに並べるとなんとすばらしいものです。
それぞれが世界に1つしかない逸品でした。



22区では

折り紙

根本愛郷会ひまわりサロン

2月12日 根本22区民館にて、折り紙をしました。もうすぐ雛祭り
ということで、可愛いお雛様をたくさん折りました。

折り紙をしながら愛郷会の成木さんのお話を聴きました。「川を
きれいにしましょう」とうテーマで、根本川と大原川の水質検査の
お話を聴きました。きれいな郷土の水質を守るために、みんなで
できることは何だろう? と考えられるお話でした。

寒い冬はランチで

わいわいモーニング

2月13日 ステーションパーク中央集会所にて、「わいわいモー
ニング」改め「わいわいランチ」を開催しました。冬場は朝が寒く活
動的でないので、ゆっくりお昼前に集まって、おいしいみそ汁で、
助六をいただきました。この日は1日早い「バレンタインデー」で
したが、おやつに可愛いチョコもいただきました。

1月と2月にお誕生日を迎えた2人の方に、いつものように鉢植を
プレゼント。みんなでハッピーバースデーを歌ってお祝いしました。



明和第二町内では

ねもと移動児童館

ねもとボランティアキッズ&メイフスカウト隊

2月27日 新明公民館にて、ねもとボランティアキッズ主催の「あそびの広場」がオープン。根本交流セ
ンターまでは遠いので、なかなか行けない小さな子供達のために、年1回 新明公民館で開かれる出前
児童館です。楽しみにしていた小さい子たちが、朝早くから大勢集まりました。



ボランティアキッズとメイフスカウトのお兄ちゃんお姉ちゃん
達の出迎えを受けて、うれしそうに会場に入ります。

会場では、いろんな遊びやゲームのスタンプラリーが
いっぱい用意されています。

今年は親子づれの来場者が目立ちました。子育て中
のママさんが、わが子と一緒に、積み木「カプラ」で遊ぶ
ほほえましい場面もありました。

参加者80人 (一般入場者43人 ボランティア37人)